



建築技術性能証明書

技術名称：CASシステム
ー溶接スタッド鉄筋工法ー

申込者：CASシステム研究会
(代表会社)株式会社エフアイティー 代表取締役社長 矢幡 秀介
東京都墨田区石原 2 丁目 12 番 9 号

技術概要：CASシステムは、既存鉄骨鉄筋コンクリート造建物に用いるアンカー工法であり、既存躯体コンクリートを内蔵鉄骨までダイヤモンドコアドリルで穿孔し、孔内清掃・鉄骨面研磨の後、スタッド鉄筋を鉄骨に溶接し、孔内に専用モルタル（CASモル）を充填させることにより所定のアンカー性能を発現させる工法である。

開発趣旨：既存鉄骨鉄筋コンクリート造建物の耐震補強において、あと施工アンカーを施工する場合、躯体内の鉄骨が干渉することにより、所定の有効埋め込み深さを確保できない場合が多い。その際、コンクリート部分を研取り、鉄骨に鉄筋を溶接する方法が用いられるが、①内蔵鉄筋を切断してしまう可能性が高い、②作業時の騒音・振動および粉塵が多い、③コンクリート研ガラなど産業廃棄物が多い、④鉄筋の溶接作業時間が長い、⑤躯体の復旧に時間がかかる、などの作業環境や施工性の悪化を招いている。本技術は、ダイヤモンドコアドリルで穿孔し、スタッド鉄筋を鉄骨に溶接した後、孔内に専用モルタル（CASモル）を充填させるだけで施工が完了するため、工期短縮に加えて作業環境を大幅に改善（低振動、低騒音、低粉塵、産業廃棄物の低減）できる工法である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成 26 年 9 月 24 日 一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文 三



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料 1：CASシステム 性能証明のための説明資料

資料 2：CASシステム 設計施工指針

資料 3：参考資料

資料 1 には、本工法の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料およびスタッド溶接モニタリングシステムがまとめられている。

資料 2 には、本工法の設計マニュアル、施工要領などが示されている。

資料 3 には、参考資料として発表論文がまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「CASシステム 設計施工指針」に従って設計・施工されたCASシステムスタッド鉄筋アンカーは、同指針に定めるせん断耐力および引張耐力を有する。